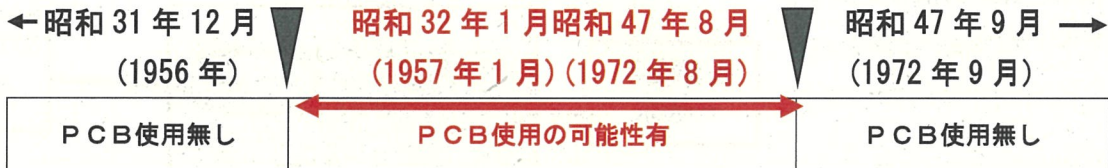


資料2 安定器に PCB が含まれているかどうかを判別する方法

昭和 32(1957)年 1 月から昭和 47(1972)年 8 月にかけて製造された**安定器**（照明のちらつきをなくす電気機器）には**PCB（毒性のある絶縁油）**が含まれている可能性があります。以下の方法に従ってご確認ください。

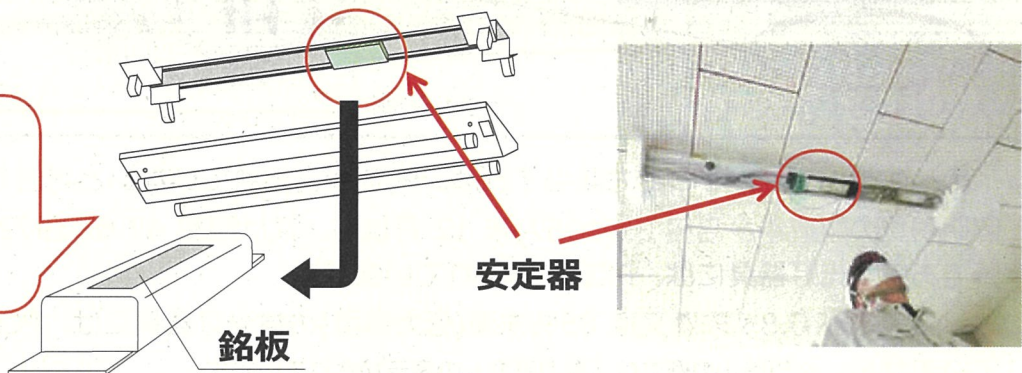
国内メーカーで昭和 31(1956)年 12 月以前及び昭和 47(1972)年 9 月以降に製造された安定器については、PCB が含まれる安定器はありません。



※この製造年別の判別は外国製など一部の機器については該当しない場合があります。

例：蛍光灯安定器

電球や丸型蛍光灯、一般家庭用の照明器具には PCB は含まれていません。



調査にあたっての注意事項

- 使用中の照明設備は感電のおそれがありますので、調査はなるべく電気事業者や専門の調査会社等（建物の維持管理を委託している場合はメンテナンス会社）にご相談ください。
- 建物の竣工図書、過去に実施した調査の記録等がある場合には、それをもとに PCB を含む安定器かどうかを判断してください。
また、これまでに行った調査がサンプル調査であった場合は、調査漏れにより PCB を含む安定器が調査後に見つかった事例もあるため、今一度全ての安定器についてご確認ください。
- 照明器具の設置高さに応じて、以下を参考に、安全に十分留意して調査してください。
 - 事務所や店舗等の通常の高さの天井に設置されている場合：脚立等を使用
 - 3m以上ある天井や屋外の高所に設置されている場合：ローリングタワー、可搬式高所作業リフト、高所作業車等を使用
- 安定器が破損している場合や、液漏れが発生している場合は、漏れた油が直接皮膚に付かないようにゴム手袋などの保護具を着用し、取扱いに十分注意してください。
- 水銀灯やナトリウム灯は、照明器具と安定器が離れて設置されている場合があります。（天井に付いているランプの安定器が壁面に取り付けられているなど）

安定器に PCB が含まれているかどうかを判別する方法の不明な点について

長野県 PCB 使用安定器調査事務局 （株式会社東京商工リサーチ長野支店内）

電話番号 0120-917-029（通話無料・フリーダイヤル）

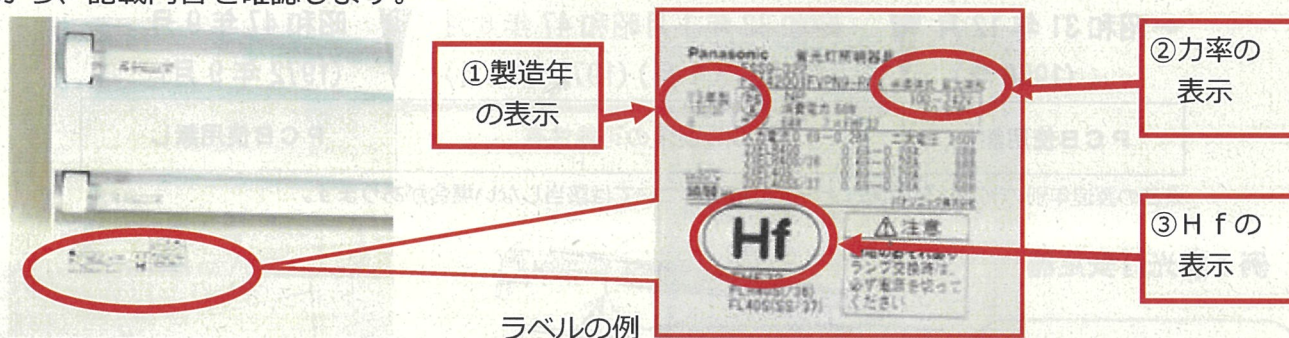
受付時間 9:00～17:00（土曜、休日、祝日は除く）

確認方法

まず、(1)の方法により照明器具のラベルを確認し、ラベルにより安定器にPCBが含まれているかどうか分からない場合は、(2)の方法により安定器の銘板を確認してください。
水銀灯やナトリウム灯は安定器の銘板を確認し、製造メーカーへお問い合わせください。

(1) 照明器具のラベルを確認する

照明器具のカバーなどには、左下の写真のようにラベルがついています。安全を確保しながら、記載内容を確認します。



以下①～③のいずれか1つでも該当すれば、PCBが含まれていないと判別できます。

- ①照明器具の製造年が昭和31(1957)年12月以前、又は昭和47年(1972)年9月以降である蛍光灯器具には、PCBが含まれていません。
- ②力率の表示が0.85未満又は85%未満(低力率型)の蛍光灯器具には、PCBが含まれていません。※ラベルの例では「高力率型」の表示がされています。
- ③Hfランプ使用の蛍光灯器具には、PCBが含まれていません。

※ラベルが読めないなど、判別できない場合は、(2)安定器の銘板を確認してください。

(2) 安定器の銘板を確認する

照明器具のラベルによる判別が困難な場合には、照明器具カバー、反射板等を取外し、安定器の銘板記載内容を確認します。



昭和32年1月から昭和47年8月までに製造され、高力率型の安定器には、PCBが含まれている可能性があります。

PCBが含まれているか分からない場合は、本紙3ページの「安定器メーカー問合せ先リスト」から製造メーカーへ問合せ、PCBが含まれているかどうかを確認してください。

※銘板が読めないなど、判別できない場合は、PCBが含まれているものとして取り扱ってください。